

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料2-3

令和6年1月15日

協議会名:加賀市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
北鉄加賀バス(株)	(路線名)温泉片山津線 (運行区間)加賀温泉駅～片山津温泉～石川病院～湖城団地～加賀温泉駅	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。	A 令和4年12月24日大雪の影響で全便運休しました。事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 通勤および普通券利用者が増加したが、1便あたり乗車人員は11.86人と目標の12人を若干下回った。しかし、昨年の乗車人員10.45人を上回った。	引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。また、加賀市が推進するMaaSに積極的に参画することにより、利便性の向上を図る。あわせて、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の実現を図る。
北鉄加賀バス(株)	(路線名)山代大聖寺線 (運行区間)山中温泉～山代温泉東口～上河崎～大聖寺駅～大聖寺実業高校～かが交流プラザさくら	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 普通券利用者が減少したことが影響し、1便あたり乗車人員は6.52人と目標の8人を下回った。	引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。また、加賀市が推進するMaaSに積極的に参画することにより、利便性の向上を図る。あわせて、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の実現を図る。
北鉄加賀バス(株)	(路線名)温泉大聖寺線 (運行区間)加賀温泉駅～松が丘～大聖寺駅～かが交流プラザさくら	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 定期および定期外利用者が微増したが、1便あたり乗車人員は3.35人と目標の5人を下回った。しかし、昨年の乗車人員3.25人を上回った。	引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。また、加賀市が推進するMaaSに積極的に参画することにより、利便性の向上を図る。あわせて、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の実現を図る。
北鉄加賀バス(株)	(路線名)吉崎線 (運行区間)加賀温泉駅～上河崎～大聖寺駅～塩屋	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 定期券利用者が減少したが、普通券利用者が増加し、1便あたり乗車人員は11.85人と目標の11人を若干上回った。	引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。また、加賀市が推進するMaaSに積極的に参画することにより、利便性の向上を図る。あわせて、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の実現を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料2-4

令和6年1月10日

協議会名:加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日本海観光バス株式会社	(路線名)キャンパス加賀越前線(運行区間)加賀温泉駅~菅生石部神社~吉崎御坊蓮上人記念館	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域住民の路線として取り組むように新設した。	B 事業は計画的に位置づけられた通り適切に実施された。	C 便数が3便のため利用者が少なく、1便当たりの乗車人数は1.85人でした。	ダイヤの再編成を検討し、便数の改善に努める。
日本海観光バス株式会社	(路線名)キャンパス海まわり線(運行区間)加賀温泉駅~橋立漁港~加賀温泉駅	従来の海まわり線を縮小し、地域住民の移動時間短縮とした経路とした。	B 事業は計画的に位置づけられた通り適切に実施された。	B 便数は6便とおおむね等間隔で運行して利便性を保ち、1便当たりの乗車人数は6.92人でした。	沿線住民に割安回数券の利用促進に努める。
日本海観光バス株式会社	(路線名)キャンパス加賀小松線(運行区間)加賀温泉駅~ゆのくにの森~那谷寺	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域住民の路線として取り組むように新設した。	B 事業は計画的に位置づけられた通り適切に実施された。	B 便数が3便のため利用者が少なく、1便あたり3.34人でした。	ダイヤの再編成を検討し、便数の改善に努める。
日本海観光バス株式会社	(路線名)キャンパス小松空港線(運行区間)加賀温泉駅~片山津温泉総湯~加賀温泉駅	新型コロナウイルス感染症の影響を受け休止していましたが、沿線住民と、飛行機利用者の利用促進のため運行を再開した。	B 事業は計画的に位置づけられた通り適切に実施された。	B 便数が3便のため利用者が少なく、1便あたり3.77人でした。	ダイヤの再編成を検討し、便数の改善に努める。